

新型コロナウイルス感染症に係る発生状況等について

1 岩手県内の患者の発生状況等

(1) 県内の患者の入退院等の状況

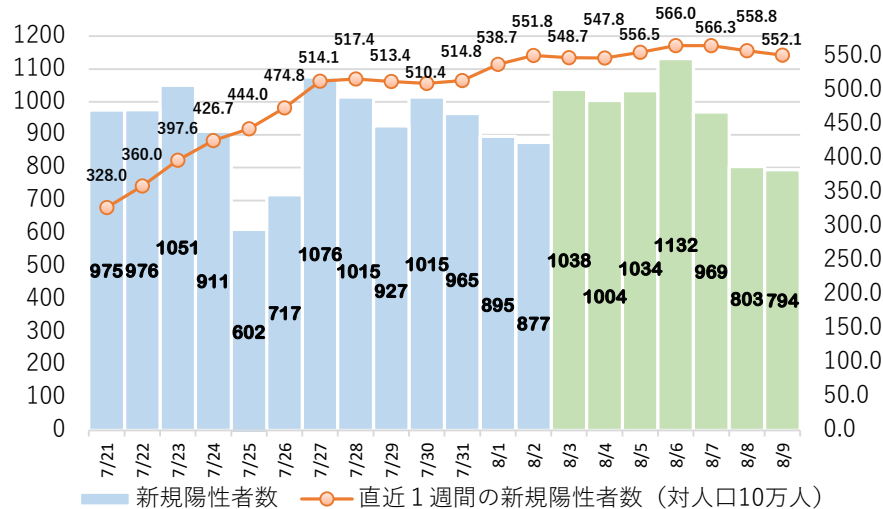
8月9日 12時時点

累計 患者数	内訳						死亡者
	入院数	うち 重症者	宿泊 療養中	自宅 療養中	入院等 調整中	退院・ 療養解除	
63,163人 (+794)	167人 (▲1)	1人 (0)	80人 (▲4)	7,757人 (▲154)	0人 (0)	55,041人 (+952)	118人 (+1)

() は前日からの増減数

(2) 県内の新規陽性者数推移

(単位：人)



(3) 年代別の新規陽性者数

(単位：人)

公表日	10歳未満	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代	90歳以上	合計
8/9	159	82	90	114	133	77	69	35	20	15	794

(4) 保健所管内別の新規陽性者数

保健所名	7月6日 ～ 7月12日	7月13日 ～ 7月19日	7月20日 ～ 7月26日	7月27日 ～ 8月2日	8月3日 ～ 8月9日	累計
県 央	294人	506人	876人	901人	1079人	9,502人
中 部	323人	579人	1161人	1319人	1209人	14,164人
奥 州	202人	505人	566人	720人	674人	6,735人
一 関	47人	228人	485人	532人	677人	4,503人
大船渡	81人	69人	112人	215人	229人	1,547人
釜 石	32人	181人	137人	147人	144人	1,148人
宮 古	27人	85人	170人	350人	236人	1,782人
久 慈	113人	224人	254人	248人	374人	3,194人
二 戸	65人	103人	219人	228人	162人	1,716人
盛岡市	514人	1129人	1846人	2110人	1990人	18,872人
計	1,698人	3,609人	5,826人	6,770人	6,774人	63,163人

(5) 県内の行政検査件数

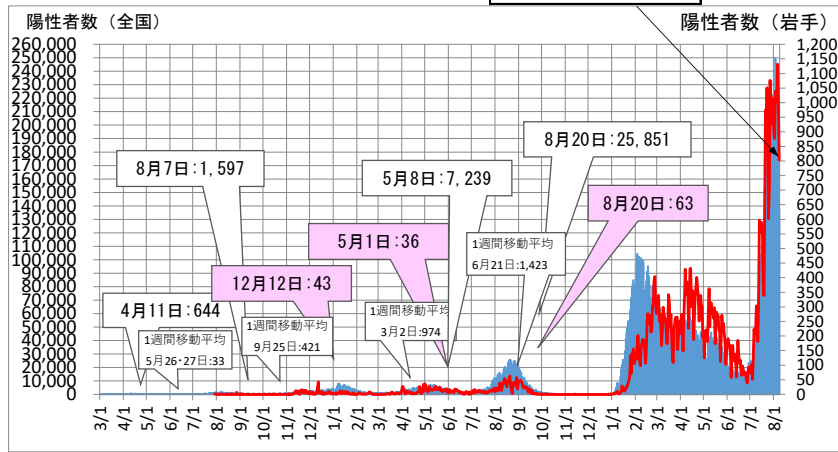
(単位：件)

検査結果判明日	8/2 (火)	8/3 (水)	8/4 (木)	8/5 (金)	8/6 (土)	8/7 (日)	8/8 (月)	累計※
環境保健 研究センター	234	2	50	26	168	45	18	37,082
民間検査機関 医療機関	2,701	2,572	2,026	1,646	1,700	1,264	1,414	326,630
合 計	2,935	2,574	2,076	1,672	1,868	1,309	1,432	363,712
ウイルス検出数	1,038	1,004	1,034	1,132	969	803	794	63,163

※累計：令和2年2月13日からの累計

2 全国の患者の発生状況等

(1) 全国の新規陽性者数推移



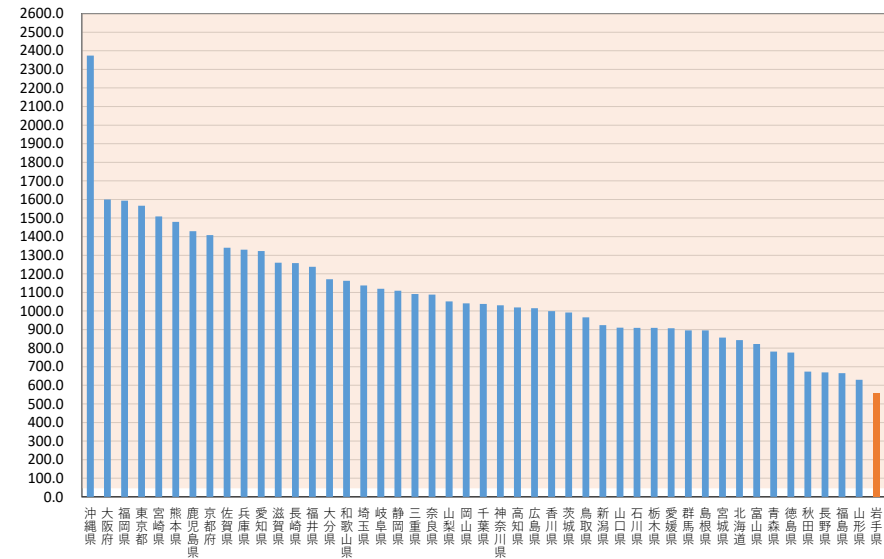
(2) 東北地方の新規陽性者数

県名	(単位:人)					累計
	7月5日 ~ 7月11日	7月12日 ~ 7月18日	7月19日 ~ 7月25日	7月26日 ~ 8月1日	8月2日 ~ 8月8日	
青森県	2,907	5,806	9,156	9,646	9,734	102,121
岩手県	1,498	3,594	5,448	6,610	6,857	62,369
宮城県	2,892	5,690	13,319	18,909	19,765	155,353
秋田県	728	2,080	4,409	6,508	6,508	52,406
山形県	934	1,830	3,687	5,321	6,785	49,385
福島県	1,583	3,417	6,916	9,522	12,283	100,785

(3) 全国の新規陽性者数

都道府県	患者数	長野県	962	岡山県	2,228
北海道	5,098	富山県	740	広島県	3,343
青森県	1,083	石川県	1,496	山口県	1,202
宮城県	1,500	福井県	1,033	徳島県	725
秋田県	404	愛知県	5,368	香川県	892
山形県	676	岐阜県	1,612	愛媛県	829
福島県	1,105	静岡県	2,012	高知県	439
東京都	17,884	三重県	1,408	福岡県	8,461
神奈川県	12,631	大阪府	8,164	佐賀県	1,339
埼玉県	8,832	兵庫県	7,884	長崎県	1,915
千葉県	7,044	京都府	4,465	熊本県	1,339
茨城県	2,887	滋賀県	2,025	大分県	1,025
栃木県	1,076	奈良県	2,280	宮崎県	1,665
群馬県	1,343	和歌山県	1,686	鹿児島県	2,145
山梨県	649	島根県	413	沖縄県	2,608
新潟県	2,441	鳥取県	667	岩手県	803

(4) 全国の直近1週間の新規陽性者数(対人口10万人): 8月2日~8月8日

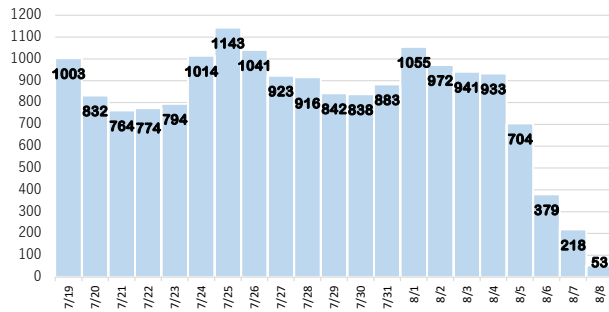


都道府県	10万人あたり 陽性者数	1週間前との増減	和歌山県	1162.8	↑	249.0	山口県	910.4	↑	175.4	
沖縄県	2374.1	↓	△ 4.4	埼玉県	1137.1	↑	16.2	石川県	909.1	↑	60.6
大阪府	1599.4	↑	11.3	岐阜県	1119.9	↑	232.3	栃木県	908.7	↑	86.4
福岡県	1593.3	↓	△ 58.4	静岡県	1108.6	↑	192.7	愛媛県	907.3	↑	197.7
東京都	1566.4	↓	△ 48.5	三重県	1091.2	↑	202.1	群馬県	895.4	↑	101.5
宮崎県	1508.4	↑	174.9	奈良県	1088.4	↑	99.0	島根県	895.3	↑	138.5
熊本県	1479.5	↑	19.8	山梨県	1051.3	↑	231.6	宮城県	857.1	↑	37.1
鹿児島県	1429.5	↑	119.5	岡山県	1041.1	↑	234.5	北海道	843.4	↑	119.7
京都府	1407.9	↑	91.1	千葉県	1038.2	↓	△ 30.7	富山県	822.4	↑	7.3
佐賀県	1340.6	↑	87.2	神奈川県	1030.3	↓	△ 64.3	青森県	781.2	↑	7.0
兵庫県	1329.9	↑	107.7	高知県	1018.9	↑	263.7	徳島県	776.5	↑	150.0
愛知県	1322.1	↑	104.5	広島県	1014.8	↑	304.8	秋田県	673.7	↑	0.0
滋賀県	1259.4	↑	176.4	香川県	999.5	↑	116.9	長野県	670.0	↑	76.3
長崎県	1257.3	↑	224.9	茨城県	992.2	↑	210.4	福島県	665.4	↑	149.6
福井県	1237.9	↑	85.3	鳥取県	965.6	↑	200.7	山形県	629.4	↑	135.8
大分県	1170.7	↑	79.6	新潟県	924.2	↑	167.7	岩手県	558.8	↑	20.1

3 感染の状況や医療ひっ迫の状況等を評価するための指標

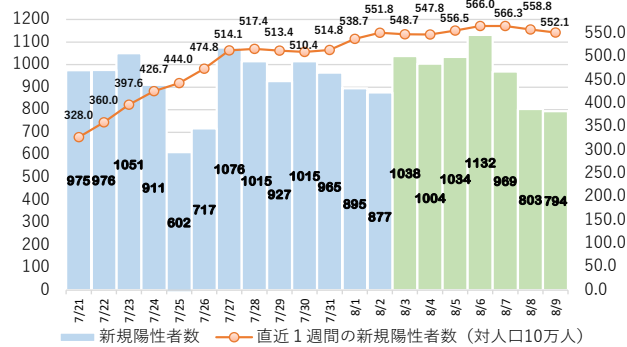
(1) 発症日別陽性者数

(単位：人)

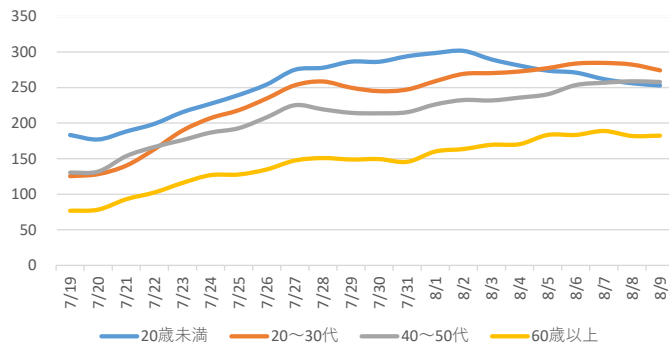


【再掲】 県内の新規陽性者数推移

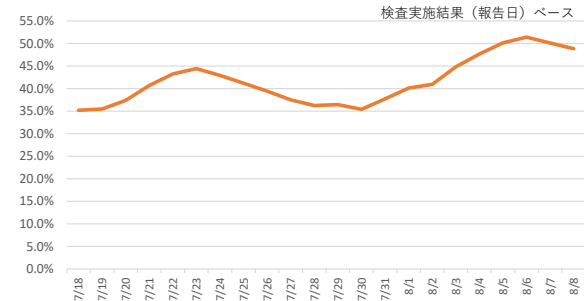
(単位：人)



(2) 年齢階層別新規陽性者数 (1週間移動平均)

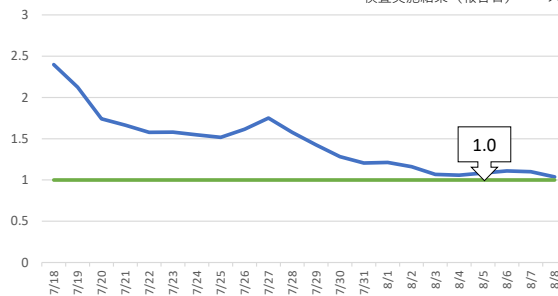


(3) PCR陽性率 (1週間移動平均)



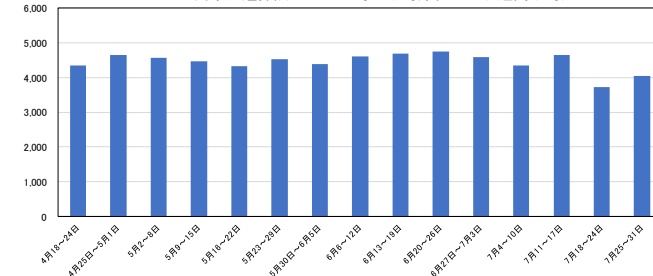
(4) 今週先週比 (新規陽性者数)

検査実施結果 (報告日) ベース



(5) 歓楽街の夜間の人流

(人) 盛岡市大通界隈の20~24時の平均滞在人口 (1週間平均)



【出典及び分析方法】 KDDI Location Analyzer (<https://k-locationanalyzer.com/>)

- ・滞在人口はauスマートフォンユーザーのうち個別同意を得たユーザーを対象に、個人を特定できない処理を行って集計した**推定値**である。未成年者・インバウンドは集計対象外。
- ・右の地図で囲んだ範囲(大通繁華街周辺、滞在時間60分以上)を抽出して集計を行った。



(6) 主な指標の状況

8月9日時点

指標			岩手県
医療提供体制の 負荷	①医療の ひっ迫具合	入院医療	確保病床の 使用率 38.4% (▲ 3.9) (167/435床)
			入院率 (入院者/療養者) 2.1% (▲ 0.0) (167/8004人)
	重症者用 病床	確保病床の 使用率 2.9% (+ 2.9) (1/34床)	
	②療養者数 (対人口10万人)		652.3 人 (+ 2.9) (実数8004人)
感染の 状況	③PCR陽性率 (直近1週間)		48.9% (+ 8.7) (6774/13866人)
	④新規陽性者数 (対人口10万人・直近1週間)		552.1 人 (+ 0.3) (実数6774人)
	⑤感染経路不明割合 (直近1週間)		49.0% (+ 9.9) (3318/6774人)

※ () は、前週差。また、入院率は療養者数(対人口10万人)が10人以上の場合に適用。

【参考】岩手県新型コロナウイルス感染症対策の基本的対処方針 別表

新たなレベル分類の判断基準

新たなレベル分類	判断基準
レベル0 (感染者ゼロレベル)	新規陽性者数ゼロを維持できている状況
レベル1 (維持すべきレベル)	安定的に一般医療が確保され、新型コロナウイルス感染症に対し医療が対応できている状況
レベル2 (警戒を強化すべきレベル)	医療体制のフェーズが2になった場合 (確保病床の使用率が概ね 20%を超えた状況)
レベル3 (対策を強化すべきレベル)	「3週間後に必要とされる病床数」が県内において確保病床数に到達した場合又は病床使用率や重症病床使用率が 50%を超えた場合に、県が総合的に判断する その際には、感染状況その他様々な指標も併せて評価する
レベル4 (避けたいレベル)	一般医療を大きく制限しても、新型コロナウイルス感染症への医療に対応できない状況